

稚アユ元気に育って 西 都 都

親子ら一ツ瀬川へ放流

27. 4. 26

第1



一ツ瀬川に稚アユを放流する子どもたち

河川環境の大切さを学んで
もらおうと、西都市や新富町
などをつくる一ツ瀬川濁水対
策推進協議会（会長・橋田和
実市長）と一ツ瀬川漁協（田
中寛組合長）は25日、同市の
山角橋近くの同川にアユの稚
魚を放流した。同市、同町な
どから親子連れら約120人
が参加し、川を上る稚アユを

見送った。

田中組合長は「川が汚れる
とアユの餌がなくなるとれ
る量が少なくなる。皆さんも
川をきれいにするのに協力し
てください」とあいさつし
た。

今回は体長7センチに成長した
稚アユ1万7千匹（約130
ギ）を準備。子どもたちはト
ラックで河川敷まで運搬され
た稚魚をバケツにくんで、川
べりに近づくと勢いよく放
流。参加した茶臼原小6年の
福原悠さん（11）は「川に入る
と元気に泳いでくれたので楽
しかった」と話していた。

同漁協は5月上旬までに一
ツ瀬川や三財川などに約20万
匹（計1・8ト）の稚アユの
放流を計画している。